



監修：
ICT CONNECT 21

教育ICT活用が問われる 感染対策の休校期間

品田 健

(iTeachers Academy 理事／ICT CONNECT 21準会員)

新型コロナウイルス対策の休校で教育ICTの活用ががぜん注目を浴びるようになりました。コンピュータを1人1台にと掛け声はあがっていても、「でも本当に必要なのかな?」と思っていた方も少なくなかったのではないのでしょうか? それが突然の休校となって、生徒にどんな学びの機会を提供できるのか、各校のICT導入の段階や活用の状況が問われました。何でもICTで解決できるわけではありませんが、「こんなことをしてあげたい」を実現できたかどうか、ICTの活用度で差がついたのは明白です。

ICTは若手に任せろ?

これからの学びにICTは欠かせないことは実感した。では本校でも導入・活用を進めよう。そうなると「誰が」中心となって進めるのが問題です。よく聞くのは「私はこういうのは詳しくないから、ふだんからスマホを使いこなしている若手に任せたい」。でも、その若手は生徒・学生時代にICTを使った学びを体験してきたでしょうか? 学校にパソコンルームはあった、パソコンもあった。ところが情報の時間にしかパソコンルームには入っていないし、ワープロや表計算アプリで見本通りの課題を作った程度。英語で国語で使いました、体育で使いました、そんな体験をしてきた若手の先生がどれだけいるでしょう。「よろしく」とICT活用を任せたいはいいものの、いきなり初任者で担任を持たされてしまったかのようにうろたえていますか。(担任ならまだ先輩に相談できるのでいい方です。)

iTeachers Academy Mission

iTeachers Academyは学校種や立場を超えた教育ICTを活用しているメンバーの集まりです。私達のmissionは「これからの教育を担う教員志望者や教員のため、ICT活用をベースとした『新しい学び』を実現する力を養成するための場づくり、日本の教育の発展と革新に寄与する」ことです。教員養

成の仕組みや採用の仕組み、教員研修も変わっていくでしょう。しかしまだ時間はかかりそうです。そこでまずは実践を行っているメンバーがそれぞれの取り組みを提供・共有できる機会をつくろうと活動しています。

① リアルな研修の場を

iTeachers Classroom という数時間のテーマ別の短期講座を行っています。『新しい学び』と言われてもどんなものなのか、どんなツールやサービスを使えばいいのか、授業設計はどうすればいい？ そんな教員志望者や若手（じやなくても歓迎です）教員向けです。単にアプリやサービスの使い方を教えるのではなく、それを使って授業ではどんなことができるのか、実際に授業で取り組んでいる講師が成功例・失敗例を取り混ぜた講座となっています。

② 多忙な先生でも学べる動画講座

新しい学びを研究したくてもなかなか多忙で学外に出られないという現実もあります。そこで動画を用いた新しい学びのスタイルを体現すべく、YouTube 番組「iTeachers TV」教育ICTの実践者たち」を毎週配信しています。全国からボランティアで集まってくれた先生（時には生徒も！）が、実践とノウハウを紹介する数分のコーナー、そしてアプリやサービスのTipsを紹介する3ミニッツのコーナーを通してICT活用や

新しい学びに関する情報を発信しています。ぜひiTeachers YouTubeチャンネルを検索して視聴してみてください。

③ まず先生が楽しもう

今までの教科教育では先生が生徒よりも圧倒的に知識も技術もある前提でした。先生が生徒に教えるのが授業。生徒にとっては「インプット」が中心でした。これからはインプットしたものを組み合わせて新しい価値を創造して「アウトプット」することが求められています。そうなる授業もアウトプットを意識しないとけません。その時に活躍するツールの一つがICTなのだと思えます。ただ、ICTは日々進化しています。先生が生徒より圧倒的に使いこなせるなんてことはほぼ不可能です。それでは生徒に教えられないではないか！ いいえ、そんなことはありません。基本的な操作については教える必要はあるでしょう。でも大事なものは、それを使って先生が楽しく学んでいる姿を見せることなのです。このアプリでこんなことができるよ、このサービスであんなことができるよ、組み合わせたらこんな面白いものが作れるよ。そんな体験を生徒に提供できるような様々な実践を私たちはこれからも紹介していきます。

※ICT CONNEXT21——「教育の情報化」に関する皆さまにオープンな場を提供し、コネクトすることで教育を良くしていく団体。教育とICTについての情報を毎週メールマガジンで配信中！

